

# 「内頸動脈海綿状静脈洞部開窓構造と 遺残三叉神経動脈の関連性についての検討」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2020年11月18日から2020年11月30日までを予定しています。

## 【研究の意義・目的】

脳動脈の開窓構造の多くは脳底動脈、前大脳動脈、前交通動脈、中大脳動脈、椎骨動脈に多く報告されており、内頸動脈に発生することは珍しく、その中でも海綿静脈洞部に発生することは極めて稀です。一方、胎生期の内頸動脈脳底動脈側副血行路の遺残である遺残三叉神経動脈も稀な血管異常です。これらの血管異常は胎生期(4-5mm)に内頸動脈が形成される時期に生じていると考えられますが、今までその関連性についての報告はありません。我々は内頸動脈海綿静脈洞部の開窓構造と遺残三叉神経動脈を合併した2例をもとに2つの血管異常の関連性について報告します。

## 【研究の対象】

小倉記念病院および大分大学付属病院において2013年10月から2019年9月の間にCTAおよびDSAで診断された2例を対象とします。

## 【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、診断名、年齢、性別、病名、画像検査の結果などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・波多野 武人の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

## 【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

## 【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（も

しくは患者さんの代理人)にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 脳神経外科 責任医師 波多野 武人  
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号  
電話 093-511-2000 (代)